



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

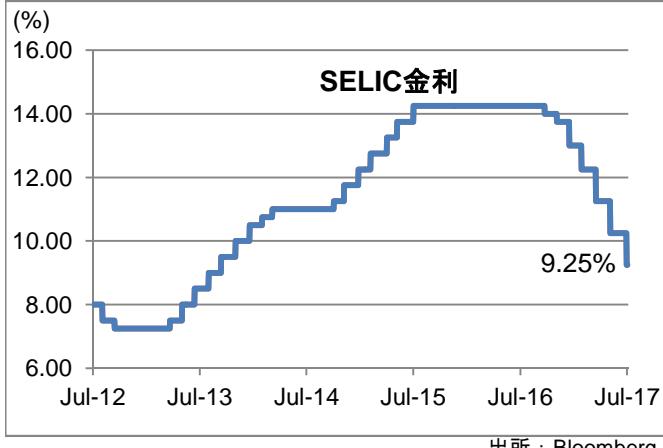
			7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1470	3.1730	3.1380	3.1510	3.1320	-0.0190
	BRL/JPY	Spot	35.31	35.28	35.41	35.30	35.34	+0.04
	EUR/USD	Spot	1.1642	1.1648	1.1736	1.1678	1.1751	+0.0073
	USD/JPY	Spot	111.14	111.91	111.14	111.26	110.68	-0.58
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.48	8.52	8.50	8.48	8.20	-0.2773
	Future	1Year(p.a.)	8.30	8.69	8.26	8.30	8.01	-0.2848
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.204	2.274	2.309	2.220	2.156	-0.064
	USD	1Year(p.a.)	2.332	2.385	2.407	2.377	2.321	-0.056
株式	Bovespa指數		65,099.55	65,667.63	65,010.57	65,277.38	65,497.13	+219.75
CDS	CDS Brazil 5y		213.73	216.51	214.07	215.22	214.12	-1.11
商品	CRB指數		176.233	177.666	179.455	181.142	182.120	+0.978

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは国内の財政問題が燻る中、3.15を挟んでもみ合う展開。
- 週初のレアルは3.1410で寄り付いた。国内の財政問題を受けてメイレス伯財務相が辞任するとの噂や、FOMCを前に米経済指標が予想を上回ったことで安値3.1760まで下げたが、FOMCの結果を受けて3.13台後半まで買い戻しが進行。その後、COPOMがハト派な内容となったことで3.15台後半まで軟化したが、週末にかけては米経済指標がインフレ低下を示したことでの高値3.1300まで上昇。結局3.1320で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.34%、2018年が2.00%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.29%から3.33%へ上方修正されたが、2018年は4.20%で据え置き。為替レートは2017年末が3.30で据え置かれたが、2018年末は3.45から3.43へレアル高方向に修正された。
- 今週、政府による2017年の財政赤字目標達成が困難との見方が強まった。政府は先週、燃料に対する増税や歳出の一部凍結を発表したが、追加の財政改善策が必要と見られる中、財政目標の緩和に向けた政治的圧力が増すものと予想されている。メイレス伯財務相は目標修正に反対しつつも選択肢としては排除しておらず、S&Pが伯国債をクレジットウォッチに指定している中で財政規律の緩みに対する懸念が高まっている。
- 28日に発表された6月の伯失業率は13.0%と予想よりも良好な結果となり、3ヶ月連続で前月から低下。家計消費が緩やかに回復していくとの見方をサポートする内容となった。
- 25日、26日に開催された米FOMCは政策金利を1.00-1.25%で維持し、追加利上げを見送った。目標の2%を下回るインフレ動向に懸念を示し、市場ではややハト派な内容と受け取られた。保有資産の縮小に関しては比較的早期に開始することを示唆した。

3.今週のチャート&ハイライト



出所 : Bloomberg

7月COPOMは前回と比較してハト派な内容

7月25日、26日に開催されたCOPOMでは予想通り1.00%の利下げを決定し、政策金利を10.25%から9.25%へ引き下げた。インフレ動向は引き続き好ましい水準と指摘。前回5月会合では政府の経済改革や経済調整に関する不確実性を理由に利下げ幅の縮小を示唆したが、これらの要因については今のところインフレ動向への影響は限定的とした。現在の経済状態が続けば次回9月の会合で利下げ幅を維持することが可能としており、予想よりもハト派な内容。先物金利は低下し、市場は次回の利下げ幅について約0.89%の水準を織り込んでいるほか、今次利下げサイクルにおける政策金利の低下は7.5-8.0%の水準までと予測している。(28日時点)



4.来週の為替市場注目点

予想 ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.20

来週のレアルは上値の重い展開を予想する。今週は国内において政府の財政問題を巡る動きに注目が集まったが、伯国債のCDSスプレッドはテメル大統領の汚職関与疑惑が発生した5月半ばに近い水準まで低下しており、財政問題から予想される格下げの動きを完全には織り込んでいないと見られる。S&Pは5月22日に伯国債の格付をクレジットウォッチに指定しているが、8月に入り具体的な格下げの動きへの警戒感が高まると見られ、レアルに対する悪材料になるものと見込む。8月1日には伯議会が再開する。テメル大統領に対する起訴を巡る下院議会の動きに注目したい。また、米国サイドでは4日に7月雇用統計が発表予定。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフレGPM(前月比)	-0.63%	-0.72%	-0.67%
ブラジル	FGVインフレGPM(前年比)	-1.58%	-1.66%	-0.78%
ブラジル	全国失業率	13.3%	13.0%	13.3%
ブラジル	基礎的財政収支	-20.1b	-19.6b	-30.8b
ブラジル	Nominal Budget Balance	-54.6b	-51.1b	-67.0b
ブラジル	純債務対GDP比	48.4%	48.7%	48.1%
米	GDP(年率/前期比)	2.7%	2.6%	1.4%
米	ミシガン大学消費者マインド	93.2	93.4	93.1

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/1	鉱工業生産(前月比)	Jun	-0.2%	0.8%
ブラジル	8/1	マーケット・ブーラジルPMI製造業	Jul	--	50.5
ブラジル	8/1	CNI設備稼働率(季調済)	Jun	--	77.4%
ブラジル	8/1	貿易収支(月次)	Jul	\$6250m	\$7195m
ブラジル	8/1	自動車販売台数(伯自販連)	Jul	--	194971
ブラジル	8/2	FIPE消費者物価指数(月次)	Jul	-0.04%	0.05%
ブラジル	8/2	商品価格指数(前月比)	Jul	--	-0.02%
米	8/2	ADP雇用統計	Jul	190k	158k
ブラジル	8/3	マーケット・ブーラジルPMIコンポジット	Jul	--	48.5
ブラジル	8/3	マーケット・ブーラジルPMIサービス業	Jul	--	47.4
ブラジル	8/4	自動車生産台数(伯自工会)	Jul	--	212281
ブラジル	8/4	自動車販売台数(伯自工会)	Jul	--	194954
ブラジル	8/4	自動車輸出(伯自工会)	Jul	--	66059
米	8/4	非農業部門雇用者数変化	Jul	180k	222k
米	8/4	失業率	Jul	4.3%	4.4%